

平成18年度全国閉鎖性海湾の『海健康診断』の実施について

全国一斉海洋環境評価

この度、海洋政策研究財団（（財）シップ・アンド・オシャン財団）では、競艇交付金による日本財団の支援を受けて、全国閉鎖性海湾の『海健康診断』を実施します。今回は一昨年度に実施した第1回に引き続き、2回目の実施になります。本年度は全国71の閉鎖性海湾（別紙参照）の一次検査・診断と三河湾の一次検査・診断並びに二次検査・診断を実施します。診断を行った海湾については、本年度末までに一次診断カルテを作成すると共に、三河湾については一次診断カルテに加えて環境改善に向けた外科的、内科的などの幾つかの処方箋を作成する予定です。

現在、宮城県も仙台湾において「海健康診断」を開始しました。当財団も技術面で協力しています。

海は、人体が行う食物の摂取から排出に至る一連の営みにも似て、河川等から流入する栄養塩の流れによって湾内の各部へ運び、食物網を通じて分解、生産・浄化するほか、一部を漁獲により外へ取り出されるなど、多くの働きによって環境が作られています。

しかし、これまで海環境は化学的な水質項目など限られた項目で評価され、海全体を総合的に評価されてきませんでした。これは即ち、人間で言うところの血液検査の結果のみで健康状態を判断するのと同じです。これでは『水清くして魚住まず』とも成りかねません。

『海健康診断』では、この「血液検査」にあたる水質検査はもちろんのこと、血圧検査や心電図検査に相当する潮位振幅の検査など、海の「構造」や「営み」を個々の海湾が持っている「体質」とも言うべき自然科学的・社会科学的な特徴も考慮して総合的に診断していきます。

各診断にあたっては、全国閉鎖性海湾「海健康診断」判定会議（委員長：平野敏行東京大学名誉教授）を設置し、専門的な見地からの評価を受ける事となっています。

全国規模で『海健康診断』を実施し、診断結果を市民の方々に分かり易く伝えることにより、海洋環境に対する理解と関心を喚起したいと考えています。

連絡先:

海洋政策研究財団 政策研究グループ海洋研究チーム 大川
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 (海洋船舶ビル)
TEL:03-3502-1891 FAX:03-3502-2127

財団法人シップ・アンド・オシャン財団は、2005年4月より「海洋政策研究財団」の通称で活動しています。

海洋政策研究財団の事業は、競艇の交付金による  日本財団の助成金を受けて実施しています。

H18 年度「海の健康診断」実施海湾位置図

